

## 第36回日本パラ水泳選手権大会 参加上の注意事項

### 1 競技規則と競技方法

- 1) 本大会は、世界パラ水泳連盟（WPS）競技規則を基にした競技運営指針「競泳競技規則」と本大会要綱に基づいて行う。内容の主なものについては日本身体障がい者水泳連盟（JPSF）ホームページ（<http://paraswim.jp/>）「2019年度 JPSF 競技運営指針」を参照すること（HP ニュース 2019.5.31）。
- 2) 競技方法は、リレーは予選を実施、個人種目はタイムレース決勝とし、複数のクラスが同時に行われた記録の処理はクラス毎とする。
- 3) リレー種目の決勝進出は、同記録で予定チーム数を超えた場合、スイムオフを行う。該当するチームはスイムオフに参加するかどうか、その種目の公式掲示の時刻から15分以内に競技デスク（大会本部）に申し出ること。申し出がない場合は棄権とみなす。補欠が同記録で複数いる場合は抽選を行う。この場合も公式掲示の時刻から15分以内に競技デスク（大会本部）に申し出ること。
- 4) 本大会では、当連盟競技者資格規程が適用されるので、スポーツマンシップに注意すること。
  - \*水着、広告規制、ミサंगा、イヤリングなど招集所でチェックされるので、その旨心得ること。
  - \*テーピング・サポーターも原則禁止されている。絆創膏などもテーピングとみなされ、「テーピング等申請用紙」を提出し、審判長の指定した役員の許可が必要である。
  - \*障がい上、医療用具（ストーマ、カテーテル等）を装着して泳ぐ場合は、テーピングと同じく「テーピング等申請用紙」を提出し、審判長の指定した役員の許可が必要である。
  - \*「テーピング等申請用紙」は受付に備えている。該当レースの1時間前までに「テーピング等申請用紙」を招集所に提出し、許可を得ること。
- 5) 水着の取り扱いについては、WPS 規則、FINA 規則による。障がい上など着用の問題がある場合は申し出ることによって例外的に認めることがある。該当レースの1時間前までに「規定外の水着使用申請書」を競技デスク（大会本部）に提出し、判断を仰ぐこと。また、記録の公認については、内容によってその都度判断をする。
- 6) 本大会は上訴審判団を設置する。

### 2 スタートについて

スタートは1回のみとし、やり直しは行わない。他の選手がフォルススタートした場合も出発合図員の号砲によってスタートすること。スタート合図は、英語（「Take your marks」）で行う。

#### ※スタートの方法

審判長の短い笛の合図で準備し、長い笛の合図でスタート台に上がり、「Take your marks」の合図を待つ。背泳ぎ以外で水中スタートする場合は短い笛の合図で、直ちに自レーンもしくは近い方のプールサイドから入水し、自レーン内に移動する。飛び込みスタートの時は「Take your marks」の合図の前にスタート台の前縁に足の指をかけて、号砲を待っても構わない。ただし、同じ組で水中スタートと飛び込みスタートの選手がいる場合は、短い笛と長い笛の間が空くので、飛び込みスタートの選手はリラックスして待つこと。（競技の進行上、水中スタートする選手でプールサイドから入水する選手は自分の選手紹介が終わり次第プールサイドに移動し入水の準備をすること）

聴覚障がいの選手は、スタート台に上り、少なくとも一方の足の指を台の前縁にかけた後、直ちに出発合図員を見ること。

バックプレート付きのスタート台およびバックストロークレッジを使用する。調整は各自で行い、確実に固定されていることを確かめること。

### 3 ゴールと退水について

ゴールタッチはタッチ板の有効面に確実にタッチすること。

ゴール後は退水合図（短い2回のホイッスル）後、横退水すること。

衣類などは荷物置き場に移動しているので、各自で間違わないように持っていくこと。

#### 4 競技順

競技は、女子・男子の順に大会プログラムの順序で行う。シニア(50才以上の部)、一般についてはシニア種目を先に行う。

#### 5 招集

招集は、指定された招集場所において、競技開始時間の30分前より開始し、15分前に終了する。招集時間に遅れた者は棄権とみなすので、各自スタートリスト等で自分の招集開始時間を確認すること。また、競技の進行に注意すること。なお、当日競技を棄権することになった場合は、競技開始1時間前までに「棄権届け出用紙」を招集所に提出すること。

#### 6 競技エリア内入場許可、介助申請

本大会では、競技エリアにコーチや介助者が入る場合、コードオブエクセプションの「T」、「A」、「Y」の記載のある選手については申請不要である。「T」、「A」、「Y」の記載のない選手については「エリア入場許可申請」を行い、該当レースの1時間前までに招集所に提出し、許可を得ること。内容によっては認められないことがある。

入退水、タッピングなどの介助を大会本部に依頼する場合は、該当レースの1時間前までに「介助者等サポート願い」招集所に提出し、許可を得ること。

各種申請書は、選手受付に備えている。申請書は(一社)日本身体障がい者水泳連盟ホームページからもダウンロードできる。[\(http://new.paraswim.jp/\)](http://new.paraswim.jp/)

大会本部に介助を依頼する場合、介助の内容を介助者に詳細に伝えて打ち合わせを行い、怪我など問題が起こらないように努めること。

S・SB・SM14ならびに15のエリア内入場や介助申請は認められない。

#### 7 競技時間

競技時間は、進行により変更する場合があるので、各自進行状況に注意すること。

#### 8 棄権・訂正について

氏名、所属の訂正や棄権の場合はそれぞれプログラム訂正用紙、「棄権届け出用紙」に記入し、競技開始1時間前までに招集所へ提出すること。エントリーと異なる参加種目の変更や追加は原則認めない。プログラム訂正用紙、「棄権届け出用紙」は受付に備え付けている。申請書は(一社)日本身体障がい者水泳連盟ホームページからもダウンロードできる。[\(http://new.paraswim.jp/\)](http://new.paraswim.jp/)

#### 9 抗議について(クラス分けに関する抗議は別の定めに従うこと)

競技開始前に判明した事項は出発合図の前に文書で審判長に提出しなければならない。競技終了後の抗議は、公式掲示の時刻から30分以内に文書によって抗議料10,000円を添えて大会本部へ提出しなければならない。抗議用紙は、競技デスク(大会本部)に備え付けている。抗議が認められれば抗議料は返金される。抗議が却下された場合は、抗議料は大会実行委員会の所有となる。

抗議の裁定に対する上訴が可能であり、かかる上訴は次の時点から30分以内に上訴料15,000円を添えて上訴審判団に対して行わなければならない。上訴用紙は大会本部に備え付けている。

- ・審判長の決定により修正された種目結果の正式発表があった時から。
- ・行われた抗議に対して、審判長もしくは審判長の代理者から結果の修正は行われたい旨の通知があった時から。

上訴が認められれば上訴料は返金される。上訴が却下された場合は、上訴料は大会実行委員会の所有となる。

\* 審判長へ失格理由などを問い合わせることは抗議ではない。

## 10 表彰

表彰は、競技終了後直ちにプールサイドの表彰場にて行う。入賞した選手は、表彰待機所に待機すること。

各種目（リレーの場合はチーム）の優勝者に金メダルが授与される。2位には銀メダル、3位には銅メダルが授与される。ただし、参加申込者が2名（チーム）までの種目は1位のみ、3名（チーム）の種目は2位までにメダルを授与する。表彰状は授与せず、記録証を完泳者に授与する。リレー優勝チームには優勝カップなどを授与する。（取りきり、2位、3位はなし、個人メダルのみ）

リレーで3位までに入ったチームは閉会式で表彰する。閉会式10分前にリレーメンバー全員で表彰待機所に集合すること。

### 1.1 速報の掲示及び記録証の配布

速報は、2Fロビーに掲示する。記録証は2F選手受付で配布する。参加当日の全競技終了1時間以内に各自、取りに来ること。（記録証の郵送は行わないので各自留意すること。）

### 1.2 リレーオーダー等について

各チームの責任者は、リレーオーダー用紙をその種目の開始1時間前までに招集所に提出すること。（ポイント記載や選手の重複出場など間違いのないようにすること）

リレーにおける第一泳者の記録は測定しない。

### 1.3 公式練習及びウォーミングアップについて

#### 前日公式練習

11月22日（金） 13:00～17:00（メインプールのみ利用可、受付は13時から随時行う。）

※クラス分けを実施するレーンは使用できないので、当日の案内に従うこと。

#### メインプール

11月23日（土） 10:00～11:20（公式スタート練習時間 10時50分～）

11月24日（日） 8:40～9:50（公式スタート練習時間 9時10分～）

※公式スタート練習時間は、当日の状況により変更になる場合があるので、当日の案内に従うこと。**23日は要項から変更となります。**

#### サブプール（※2レーンのみ使用可）・ダイビングプール（※式典中は不可）

11月23日（土） 11:30～ 競技終了後30分

11月24日（日） 9:30～ 閉会式終了後30分

※サブプール、ダイビングプールとも飛び込みは禁止する

### 1.4 監督者会議について

監督者会議は行わないので、この注意事項をよく読んでおくこと。

質疑がある場合は競技デスク（大会本部）へ問い合わせること。

### 1.5 クラス分けについて

11月22日（金）に肢体不自由のクラス分け評価を行う。

肢体不自由者のクラス分けは、J-FSCクラス分け規則に基づき行われ、その時に決定したクラスがエントリークラスより優先される。クラスが変更となった場合、出場種目がない場合がある。各自でエントリー種目を確認すること。もし、変更となったクラスでエントリーした種目の実施がない場合はクラス分け評価当日に大会本部に申し出ること。

適切な医学的情報の提出がない場合、あるいは持てる能力を發揮しない場合などで「クラスなし（非協力的、意図的な虚偽申告等）」と認定された場合、記録は認められず、メダルは返却しなければならない。また、今大会以降の競技会（日本パラ水泳選手権大会等）には出場できない。

競技観察の結果、出場したクラスから変更になった場合、変更後のクラスでの記録となる。必要があればメダルも交換・返還とする。ただし改めての表彰は行わない。

大会当日は全競技においてクラス観察を行う。クラス分け委員から指示があれば、その指示（クラス分け評価、次回クラス分け受検等）に従うこと。

クラス分けについては JPSF ホームページ掲載「競技運営指針クラス分け規則 2019 版」を参照すること。

視覚障害・知的障害のクラス分けは行わない。

## 1.6 水着・所属表示等について

本大会の水着に関する規程は、FINA 及び WPS の競技規則による。1- (5) の許可を得た場合以外の選手は FINA 公認の水着を着用すること。水着のチェックは招集所で行う。規定に外れる水着を着用して泳いだ場合の記録はすべて参考記録扱いとなり、決勝への出場はできない。着用できる水着は 1 枚のみとし、水着の重ね着は禁止する。水着へのテーピングおよび 2 次加工は禁止する。ただし、障がい上の理由で FINA マークのついていない加工された水着または FINA マーク剥離の水着を着用する場合は、事前に大会本部に届け出て、許可を受けなければならない。

競技エリアで着用するユニホーム等の表示は、介助者、スタッフを含め次のもの以外は認められない。①自分の氏名、所属の名称やマーク、②国旗・国または地域の名称、都道府県や市町村の名称やマーク、③公式競技会および公認競技会のシンボルマークや主催者が認めたもの、④水着、ウェア等のメーカーロゴ・マーク、⑤事前に届出承認がされている、スポンサーロゴ。それぞれの大きさと数については、【表】のとおりとする。

【表】

マークの種類/用途	水着についてよい大きさと数	ウェアについてよい大きさと数	その他のものについてよい大きさと数
自分の氏名、エントリーした所属の名称、マーク、国旗・国または地域等の名称やマーク、公式・公認競技会のマークや主催者が認めたもの。	50 cm <sup>2</sup> 以内で 1 か所。	大きさ、数に制限なし。	大きさ、数に制限なし。
メーカーのロゴ・マーク	メーカーロゴまたはマークは 30 cm <sup>2</sup> 以内で 1 か所。	メーカーロゴは 40 cm <sup>2</sup> 以内で 1 か所。マークは 20 cm <sup>2</sup> 以内であれば数に制限なし。	メーカーロゴは 20 cm <sup>2</sup> 以内で 1 か所。マークは 20 cm <sup>2</sup> 以内であれば数に制限なし。
事前承認されたスポンサーロゴ	30 cm <sup>2</sup> 以内で 1 か所。	40 cm <sup>2</sup> 以内で 1 か所。	20 cm <sup>2</sup> 以内で 1 か所。

※1 それぞれの大きさ（サイズ）は着用前の面積とする。採寸方法は正方形または長方形とみなし、縦×横で面積を求める。それぞれの面積は最大を示し、その範囲内であれば大きさに規定はない。

※2 ワンピース水着の場合は、ウエストより上に 1 つ、ウエストより下に 1 つ許され、ツーピース水着の場合は、上部に 1 つ、下部に 1 つが許される。ただし、これらの商標名は相互に隣接しておくことはできない。

## 1.7 アンチ・ドーピングについて

障がい上、必要な薬物使用であっても、許可を得ていなければドーピング違反行為と見なされる。ドーピング違反となった場合は規定に従って出場停止などの処分があるので注意すること。日本アン

チ・ドーピング機構のWEBサイトをよく読んで参加すること (<http://www.playtruejapan.org/>)。

本大会では、日本アンチ・ドーピング機構と連携し、2Fロビーにてアンチ・ドーピングに関する情報発信ブースを設置する。このプログラムは簡単なクイズに答えて、アンチ・ドーピングの知識を学ぶものである。「アンチ・ドーピングとは何か」を知ることは、スポーツに関わる上で、とても重要なことである。アスリートの方はもちろん、サポートスタッフ等だれでもご参加できる。尚、クイズに挑戦した場合、プレゼントがある予定。

## 1.8 トレーナーブースの設置について

トレーナーブースを2Fロビーに設置する。利用者は当日の案内に従って利用すること。

## 1.9 その他

- 1) 選手・観客の施設への出入りは外階段を使って2F入口から行う。車いす選手等エレベーターを利用する場合のみ1Fから行う。選手受付は、2Fロビーに設置する。
- 2) 本大会では車いすの貸し出しは行わない。各自対応すること。また、更衣室やプールに入る際は十分に汚れを落として入ること。
- 3) 選手の休憩・待機場所は、招集場側2F観覧席とする。
- 4) 選手・観客の観覧・応援は招集所側の2F観覧席を利用すること。それ以外の場所は使用できない。大会側より許可を受けた者以外の競技エリア内への入場はできない。車いす選手の観覧は本部席側のプールサイドも利用できる。
- 5) 更衣は、選手専用更衣室を利用すること。家族更衣室は異性介護の場合は医務室の小部屋、同姓介助者の場合は選手更衣室にそれぞれ1か所設置する。譲り合って使用すること。ロッカーは使えるが施錠できないので、貴重品等は各自で管理すること。また、貴重品に限らず紛失盗難することもあるため、荷物の管理は気を付けること。紛失盗難などの責任は一切負わない。また、家族更衣室およびロッカーの使用はレース出場時とし、荷物を置いたままにしないこと。
- 6) 観覧席から更衣室への移動は内階段を使ってトレーニング室側から更衣室に入ること。車いす使用等階段利用が難しい選手は1階ロビーより更衣室にはいること。
- 7) 競技エリアは裸足となっているので、2階下足箱を利用し、1階へ降りること。ただし、義足や装具やけが予防のための上靴（選手のみ）は使用してもよい。
- 8) 水温は27～28度とする。室温の調整はしないので、各自保温に留意すること。
- 9) メインプールの各コーナーに赤台を設置する。
- 10) 選手には2日間通して1枚のアクレディテーションカード（ADカードと略す）を発行する。紛失しないようにすること。バックストロークレッジの使用の有無について各自で記入しておくこと。
- 11) 大会期間中における事故または傷病については、応急処置のみとする。その他の責任は負わないので、体調などは各自自己管理すること。
- 12) 競技の撮影について
  - ①本大会に関する知的財産権(大会写真、動画等)は主催者に帰属する。主催者の許可なく個人的な利用(非営利目的以外)以外での使用は認められない。
  - ②一般の観客(選手を含む)による撮影場所は選手・一般観覧席とする。撮影機器は携帯用カメラレベル(携帯電話・スマートフォン・レンズ一体型コンパクトデジタルカメラ)とし、フラッシュを利用したの撮影等、競技の妨げになるような撮影はしないこと。  
また、1眼レフやレンズ交換ができるタイプのカメラおよびビデオカメラ、赤外線フィルター、赤外線装置を使っでの撮影は禁止する。
  - ③不審な撮影行為は、係員が事情聴取をする場合がある。内容によっては、所轄警察署に通報する。不審な撮影行為を見かけたら、係員に連絡すること。
  - ④個人情報保護・迷惑防止条例等に抵触しないように十分注意をすること。

- ⑤撮影した写真・動画については、ご家庭・チーム内で鑑賞することにとどめ、許可を得ていない自分以外の方が写りこむ写真や当連盟協賛企業の広告以外の広告物が写りこむ写真のインターネット（SNS等）へのアップロードは禁止する。また、動画のアップロードは禁止する。
- ⑥メディアの撮影は事前に申請し許可を得た場合のみとし、当日報道受付でメディアガイドを受け取り、それに従って行うこと。決められた場所以外での取材・撮影は禁止する。
- 13) 大会要項にも記載したように、本大会では、YouTubeで競技状況の映像などを配信するので、多くの人にも見られている。選手としての自覚をもって行動をするなど、その旨心得ること。
- 14) 個人情報の取り扱いについて  
本大会のプログラム記載事項、記録などは連盟ホームページで公開する予定である。その他、連盟の個人情報取り扱い方針に基づいて行われる。
- 15) 弁当申込者（事前のみ）は、引換券を持参して午前11時以降に受付に取りに来ること。空き箱は回収するので午後2時までに受付まで返却のこと。
- 16) ゴミはすべて持ち帰ること。
- 17) 大会参加者用駐車場はないので、公共の交通機関を利用し来場すること。
- 18) 忘れ物があった場合、受付に一時保管する。大会終了後は神戸事務所で保管するが1か月を超えた場合は処分する。忘れ物等の問合せは直接、選手受付へ申し出ること。大会終了後は神戸事務所に連絡すること。
- 19) 競技ならびに閉会式終了後は1時間以内に退館すること。

以上